



皆様の一層の御指導、御鞭撻を心からお願い申し上げまして、簡単ではございますが、就任の御挨拶といたします。

○議長(平田健二君) 草川昭三君から発言を求められました。この際、発言を許します。草川昭三君。

〔草川昭三君登壇、拍手〕

○草川昭三君 私は、年長のゆえをもちまして、議員一同を代表し、ただいま就任されました新副議長に対しましてお祝いの言葉を申し上げ、あわせて、退任をされました前副議長に対しましてお詫びの言葉を申し上げたいと存じます。

山崎正昭君は副議長に当選をされました。私も一回、衷心より祝意を表する次第でございます。

皆様も御承知のとおり、山崎君は、長年にわたって豊かな議会運営の御経験を重ねてこられました。卓越した御見識をお持ちで誠実なお人柄の山崎君が副議長に就任をされましたことは、御同慶に堪えないとこでございます。

新副議長におかれましては、公正かつ民主的な議会運営に当たられ、本院の権威高揚のため、一層のお力を發揮されますようお願い申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

次に、尾辻前副議長に対しまして、「言お詫びを申し上げます。

尾辻前副議長におかれましては、平成二十二年の御就任以来、その円満なるお人柄と豊富な御経験により、本院の公正な運営に尽力され、その重責を担われてまいりました。ここに、その御労苦に対し深甚なる謝意を表しますとともに、今後と

も、御自愛の上、議会政治発展のため、御活躍くださいます。(拍手)

○議長(平田健二君) 尾辻秀久君から発言を求められました。この際、発言を許します。尾辻秀久君。

〔尾辻秀久君登壇、拍手〕

○尾辻秀久君 ただいま草川昭三先生から議員一同を代表されまして温かいお言葉をいただき、身に余る光榮であります。

在任中は、皆様方の御協力によりまして、重責を大過なく果たすことができました。心より御礼申し上げます。

今後とも、変わらぬ御交誼のほど、よろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。(拍手)

○議長(平田健二君) この際、特別委員会の設置についてお諮りいたします。

災害に関する諸問題を調査し、その対策樹立に資するため、委員二十名から成る災害対策特別委員会を、

沖縄及び北方問題に関する対策樹立に資するため、委員二十名から成る沖縄及び北方問題に関する特別委員会を、

政治倫理の確立及び選挙制度に関する調査のため、委員三十五名から成る政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会を、

北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会を、

その対策樹立に資するため、委員二十名から成る北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会を、

その対策樹立に資するため、委員二十名から成る北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会を、

政府開発援助を始めとする国際援助・協力に関する諸問題を調査するため、委員三十名から成る政府開発援助等に関する特別委員会を、

消費者の利益の擁護及び増進等に関する総合的な対策を樹立するため、委員二十五名から成る消費者問題に関する特別委員会を、

また、東日本大震災からの復興に当たり、その総合的な対策樹立に資するため、委員四十名から成る東日本大震災復興特別委員会を、

それぞれ設置いたしたいと存じます。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(平田健二君) 御異議ないと認めます。

よつて、災害対策特別委員公外六特別委員会を設置することに決しました。

本院規則第三十条の規定により、議長は、議席に配付いたしました氏名表のとおり特別委員を指名いたします。

議長の指名した委員は左のとおり

○災害対策特別委員

斎藤 嘉隆君

田中 直紀君

西村 まさみ君

福山 哲郎君

青木 一彦君

小坂 憲次君

末松 信介君

渡辺 孝男君

平山 幸司君

岩本 岩本君

司君

尾立 源幸君

徳永 工利君

室井 邦彦君

宇都 隆史君

吉田 博美君

長谷川 岳君

木庭健太郎君

江口 克彦君

紙 智子君

山内 德信君

鈴木 寛君

藤田 幸久君

岸 宏君

吉川 沙織君

岩井 茂樹君

藤川 政人君

丸山 和也君

山崎 力君

荒木 清寛君

西田 実仁君

中西 健治君

井上 哲士君

平山 誠君

有田 芳生君

川合 孝典君

白 真勲君

柳澤 光美君

江崎 孝君

小野 次郎君

佐藤 公治君

行田 邦子君

柳澤 勤君

山根 隆治君

大久保潔重君

難波 奕二君

猪口 邦子君

島尻安伊子君

橋本 聰君

脇 雅史君

横山 信一君

主濱 了君

足立 信也君

石井 一君

植松 恵美子君

江田 五月君

辻 泰弘君

藤山 ひろえ君

安井 美沙子君

磯崎 仁彦君

岡田 広君

佐藤ゆかり君

西田 昌司君

松村 祥史君

宮沢 洋一君

吉田 博美君

長沢 広明君

小野 次郎君

佐藤 公治君

行田 邦子君

柳澤 勤君

山根 隆治君

江崎 孝君

小野 次郎君

佐藤 公治君

行田 邦子君

柳澤 勤君

山根 隆治君

二

官 報 (号 外)

○政府開発援助等に関する特別委員会	石井 浩郎君	衛藤 晟一君	松下 新平君	丸川 珠代君	午後二時三十一分開議
	塚田 一郎君	野上 浩太郎君	渡辺 猛之君	加藤 修一君	○議長(平田健二君) 休憩前に引き続き、会議を開きます。
○東日本大震災復興特別委員会	松村 龍二君	三原じゅん子君	山本 博司君	川田 龍平君	日程第三 会期の件
	山谷えり子君	谷合 正明君	谷 亮子君	大門実紀史君	議長は、今期国会の会期を三日間といたしたいと存じます。
○議長(平田健二君) これにて休憩いたします。	浜田 昌良君	柴田 巧君	荒井 広幸君	金子 恵美君	会期を二日間とすることに賛成の諸君の起立を求めます。
	はた ともこ君	中山 恭子君	岡崎トミ子君	小西 洋之君	〔賛成者起立〕
○議長(平田健二君) これより開票いたします。	石橋 通宏君	江田 五月君	神本美恵子君	田中 直紀君	○議長(平田健二君) 総員起立と認めます。
	小川 敏夫君	大塚 耕平君	田城 郁君	田中 直紀君	よつて、会期は全会一致をもつて二日間と決定いたしました。
○議長(平田健二君) これにて休憩いたします。	武内 則男君	辻谷 ルイ君	玉置 弥君	藤井 良和君	〔賛成者起立〕
	津田弥太郎君	柳澤 ルイ君	徳永 エリ君	那谷屋正義君	議長(平田健二君) 総員起立と認めます。
○議長(平田健二君) これより開票いたします。	安井美沙子君	光信君	平野 達男君	福山 哲郎君	本院規則第二十条の規定により、これより内閣総理大臣の指名を記名投票をもつて行います。議席に配付してあります記名投票用紙に国公議員のうち一人の氏名を記入して、御登壇の上、御投票を行ななればなりません。
	赤石 清美君	柳澤 光美君	藤原 正司君	増子 輝彦君	本院規則第二十条の規定により、これより内閣総理大臣の指名を記名投票をもつて行います。議席に配付してあります記名投票用紙に国公議員のうち一人の氏名を記入して、御登壇の上、御投票を行ななればなりません。
○議長(平田健二君) これより開票いたします。	北川イッセイ君	小泉 昭男君	蓮 航君	愛知 治郎君	本院規則第二十条の規定により、これより内閣総理大臣の指名を記名投票をもつて行います。議席に配付してあります記名投票用紙に国公議員のうち一人の氏名を記入して、御登壇の上、御投票を行ななればなりません。
	伊達 忠一君	中原 八一君	赤石 清美君	岩城 光英君	本院規則第二十条の規定により、これより内閣総理大臣の指名を記名投票をもつて行います。議席に配付してあります記名投票用紙に国公議員のうち一人の氏名を記入して、御登壇の上、御投票を行ななればなりません。
○議長(平田健二君) これより開票いたします。	中村 博彦君	長谷川 岳君	上野 通子君	岡田 広君	本院規則第二十条の規定により、これより内閣総理大臣の指名を記名投票をもつて行います。議席に配付してあります記名投票用紙に国公議員のうち一人の氏名を記入して、御登壇の上、御投票を行ななればなりません。
	松山 政司君	水落 敏栄君	熊谷 大君	佐藤 信秋君	本院規則第二十条の規定により、これより内閣総理大臣の指名を記名投票をもつて行います。議席に配付してあります記名投票用紙に国公議員のうち一人の氏名を記入して、御登壇の上、御投票を行ななればなりません。
○議長(平田健二君) これより開票いたします。	山本 順三君	竹谷とし子君	佐藤 正久君	昌一君	本院規則第二十条の規定により、これより内閣総理大臣の指名を記名投票をもつて行います。議席に配付してあります記名投票用紙に国公議員のうち一人の氏名を記入して、御登壇の上、御投票を行ななればなりません。
	山本 香苗君	松田 公太君	高階恵美子君	関口 昌一君	本院規則第二十条の規定により、これより内閣総理大臣の指名を記名投票をもつて行います。議席に配付してあります記名投票用紙に国公議員のうち一人の氏名を記入して、御登壇の上、御投票を行ななればなりません。
○議長(平田健二君) これより開票いたします。	森 ゆうこ君	吉田 忠智君	森 まさこ君	福岡 資麿君	本院規則第二十条の規定により、これより内閣総理大臣の指名を記名投票をもつて行います。議席に配付してあります記名投票用紙に国公議員のうち一人の氏名を記入して、御登壇の上、御投票を行ななればなりません。
	亀井典紀子君	浜田 和幸君	吉田 博美君	山田 俊男君	本院規則第二十条の規定により、これより内閣総理大臣の指名を記名投票をもつて行います。議席に配付してあります記名投票用紙に国公議員のうち一人の氏名を記入して、御登壇の上、御投票を行ななればなりません。
○議長(平田健二君) これより開票いたします。	外添 要一君	横峯 良郎君	渡辺 孝男君	秋野 公造君	本院規則第二十条の規定により、これより内閣総理大臣の指名を記名投票をもつて行います。議席に配付してあります記名投票用紙に国公議員のうち一人の氏名を記入して、御登壇の上、御投票を行ななればなりません。
	足立 信也君	江崎 孝君	石川 博崇君	寺田 典城君	氏名点呼を行ないます。
○議長(平田健二君) これより開票いたします。	小川 敏夫君	尾立 源幸君	藤原 良信君	吉田 忠智君	〔投票箱閉鎖〕
	大河原雅子君	金子 洋一君	浜田 和幸君	谷岡 郁子君	〔投票執行〕
○議長(平田健二君) これより開票いたします。	斎藤 嘉隆君	谷 博之君	水戸 将史君	寺田 典城君	〔投票箱閉鎖〕
	難波 捷二君	松井 孝治君	谷岡 郁子君	吉田 忠智君	○議長(平田健二君) 投票漏れはございませんか。——投票漏れないと認めます。投票箱閉鎖。
○議長(平田健二君) これより開票いたします。	石井みどり君	上野 通子君	浜田 和幸君	渡辺 孝男君	投票の過半数は百十八票でございます。
	片山さつき君	末松 信介君	水戸 将史君	寺田 典城君	安倍晋三君
○議長(平田健二君) これより開票いたします。	中西 祐介君	二之湯 智君	吉田 忠智君	吉田 忠智君	海江田万里君
					八十七票
○議長(平田健二君) これより開票いたします。					十一票
					五百七票
○議長(平田健二君) これより開票いたします。					六票
					八票
○議長(平田健二君) これより開票いたします。					三票
					五票
○議長(平田健二君) これより開票いたします。					三票
					三票
○議長(平田健二君) これより開票いたします。					一票
					一票
○議長(平田健二君) これより開票いたします。					三百三十四票
					投票総数

官 報 (号 外)

○議長(平田健二君) 投票漏れはございませんか。——投票漏れはないと認めます。投票箱閉鎖。

投票箱閉鎖

○議長(平田健一君) これより開票いたします。

〔参考投票を計算、点〕

○議長(平田健一君) 決選投票の結果を報告いたします。

投票總數

安培晋三君	海江田万里君	白七票
無効		
		九十六票
	一票	
三千票		

よって 本院は 安倍晋三君を内閣総理大臣に指名することに決しました。

○議長(平田健二君) 本日はこれにて散会いたし  
ます。

午後三時十四分散会

出席者は左のとおり。

議員

石川	山田	平田	議長
太郎君	副議長	尾辻	健二君
博崇君	山崎	秀久君	吉田
	正昭君	忠智君	竹谷とし子君

藤巻	幸夫君	秋野	公造君	真山	第一君
山本	博司君	山本	通宏君	松田	公太君
石橋	福島みづほ君	寺田	典城君	山本	香苗君
荒木	清寛君	加藤	修一君	川田	信夫君
松野	龍平君	松野	信夫君	川田	龍平君
魚住裕一郎君	松 あきら君	魚住裕一郎君	ヅルヨンマツエイ君	水野 賢一君	山口那津男君
木庭健太郎君	木庭健太郎君	福山 哲郎君	木庭健太郎君	福山 哲郎君	木庭健太郎君
森田 高君	正司君	横峯 良郎君	高君	横峯 良郎君	森田 高君
斎藤 嘉隆君	西村まさみ君	樽井 良和君	西村まさみ君	斎藤 嘉隆君	斎藤 嘉隆君
田城 郁君	小西 洋之君	横峯 良郎君	小西 洋之君	田城 郁君	金子 恵美君
風間 直樹君	西村まさみ君	樽井 良和君	西村まさみ君	風間 直樹君	金子 恵美君
川合 孝典君					川合 孝典君

横山	信一君	谷合	徳信君	山内	信一君
又市	正明君	渡辺	徳治君	中西	徳治君
健治君	昌良君	浜田	孝男君	大悟君	大悟君
柴田	巧君	長沢	廣明君	藤谷	光信君
川上	義博君	江口	克彦君	藤田	柳澤
柳澤	光美君	西田	実仁君	小野	幸久君
西田	幸久君	藤田	幸久君	白浜	一良君
実仁君	次郎君	柳澤	昭三君	小川	敏夫君
幸久君	昭三君	白浜	和幸君	浜田	和幸君
次郎君	和幸君	小川	誠君	平山	誠君
昭三君	誠君	浜田	自見庄三郎君	大野	元裕君
和幸君	自見庄三郎君	安井美沙子君	大野	元裕君	難波
誠君	大野	安井美沙子君	難波	エリ君	徳永
誠君	徳永	徳永	徳永	智司君	中谷
誠君	智司君	智司君	智司君	久志君	牧山ひろえ君
誠君	久志君	久志君	久志君	大久保潔重君	徳水

林	久美子君	室井	邦彥君	小見山幸治君
前川	清成君	高橋	千秋君	榛葉賀津也君
廣田	一君	一川	保夫君	岡崎トミ子君
松井	孝治君	池口	修次君	郡司 彰君
岡崎	トミ子君	小川	勝也君	舟山 康江君
		米長	晴信君	中西 祐介君
		谷岡	郁子君	中山 恭子君
		中山	高階恵美子君	吉川 沙織君
		有田	芳生君	石井みどり君
平野	達男君	武内	則男君	相原久美子君
藤本	祐司君	川崎	稔君	那谷屋正義君
野上	浩太郎君			島尻安伊子君
神本	美恵子君			

蓮	藤末	尾立	大久保	大久保
舫君	健三君	源幸君	勉君	正夫君
	小林	岩本	司君	寬君
	鈴木	大塚	耕平君	東君
	柳田	輿石	稔君	俊一君
	長浜	水岡	博行君	直嶋
	行田	邦子君	正行君	行田
	水戸	片山虎之助君	將史君	龜井亜紀子君
	江崎	糸数	慶子君	糸数
	梅村	金子	洋一君	慶子君
	聰君	洋一君		
谷	辻	大島九州男君		
山根	加藤	轟木	利治君	
	津田弥太郎君	大河原雅子君		
	敏幸君	加賀谷	健君	
	隆治君	白足立	眞稟君	信也君
	博之君			

羽田雄一郎君  
山谷えり子君  
玉置  
一弥君  
田中 直紀君  
石井 一君  
山東 昭子君  
長谷川 岳君  
若林 健太郎君  
上野 通子君  
岩井 茂樹君  
石井 浩郎君  
佐藤 正久君  
西田 昌司君  
牧野たかお君  
佐藤ゆかり君  
磯崎 陽輔君  
大家 敏志君  
福岡 資廣君  
小泉 基之君  
藤井 昭男君  
未松 信介君  
中村 博彦君  
宮沢 洋一君  
脇 雅史君  
鈴木 政二君  
松山 政司君  
加治屋義人君  
渡辺 猛之君  
中曾根弘文君  
岸 宏一君  
谷川 秀善君  
はた ともご君

青木 一彦君	熊谷 大君
舛添 要一君	谷 亮子君
山下 芳生君	丸山 和也君
山田 俊男君	森 まさこ君
紙 智子君	川口 順子君
松下 新平君	山本 順三君
水落 敏栄君	平山 幸司君
大門 実紀史君	二之湯 智君
野村 哲郎君	松村 祥史君
長谷川 大紋君	大江 康弘君
藤原 良信君	井上 哲士君
有村 治子君	愛知 治郎君
金子原 二郎君	鶴保 康介君
主濱 了君	市田 忠義君
林 芳正君	山本 一太君
衛藤 咸一君	山崎 力君
武見 敬三君	佐藤 公治君
森 ゆうこ君	広野 ただし君

第百八十一回国会閉会後の議長の報告事項

去る十一月十九日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

## 総務委員

辞任 金子 洋一君	補欠 藤末 健三君
前川 清成君	藤本 祐司君
財政金融委員	
辞任 藤末 健三君	
経済産業委員	
辞任 藤本 祐司君	
前川 清成君	

去る十一月二十二日内閣から次の答弁書を受領した。

参議院議員佐藤正久君提出シリア国内の戦闘状況及び国際社会のシリアル安定化への取組に関する質問に対する答弁書(第三五六号)

参議院議員佐藤正久君提出野田総理の所信表明する質問に対する答弁書(第三六号)

参議院議員浜田昌良君提出日本年金機構の年金相談の改善に関する質問に対する答弁書(第四五号)

参議院議員佐藤正久君提出韓国政府及び韓国政府の竹島関連予算に関する質問に対する答弁書(第四六号)

参議院議員佐藤正久君提出韓国政府による竹島の管理強化策に関する再質問に対する答弁書(第四七号)

参議院議員佐藤正久君提出米軍航空基地及び自衛隊航空基地における凧等による妨害行為に関する再質問に対する答弁書(第四八号)

参議院議員佐藤正久君提出東京電力福島第一原子力発電所事故警戒区域内の牛をはじめとする家畜の活用に関する質問に対する答弁書(第三九号)

参議院議員岩城光英君提出福島県民の甲状腺がん発症への不安に対する国の対応に関する質問に対する答弁書(第四一号)

参議院議員佐藤正久君提出尖閣諸島の一部国有化に伴う各種影響等に関する質問に対する答弁書(第四二号)

参議院議員佐藤正久君提出中国の習近平新体制発足に際しての日本政府の方針に関する質問に対する答弁書(第四三号)

参議院議員佐藤正久君提出医薬品の登録販売者試験の不正受験に関する質問に対する答弁書(第五五号)

参議院議員藤井基之君提出予防接種制度の見直しに関する質問に対する答弁書(第五六号)

参議院議員秋野公造君提出子どもたちの健康を長期的に見守るための福島県民健康管理調査の一環で行われている甲状腺超音波検査を長期的に質の高いものとして維持するための取組に関する質問に対する答弁書(第五七号)

参議院議員秋野公造君提出消防飛行艇及び人体と環境に配慮した泡消火剤を用いた空中消防体制の強化に関する再質問に対する答弁書(第五八号)

参議院議員秋野公造君提出質の高い連携病理診断の推進による国民が受けける医療の質の向上に関する質問に対する答弁書(第五九号)

参議院議員秋野公造君提出コンビニエンスストアのオープニングカウンタに関する質問に対する答弁書(第六〇号)

参議院議員秋野公造君提出第一種農地の転用許可基準の緩和に関する質問に対する答弁書(第六一号)

参議院議員秋野公造君提出改造成V及びミニEの導入支援の促進に関する質問に対する答弁書(第六二号)

参議院議員秋野公造君提出低周波音の健康被害対策に関する質問に対する答弁書(第六三号)

参議院議員秋野公造君提出介護保険の第一号被保険者に係る保険料の軽減に関する質問に対する答弁書(第六五号)



官 報 (号外)

同日内閣を経由して日本銀行総裁から、日本銀行法第五十四条第一項の規定に基づく通貨及び金融の調節に関する報告書を受領した。	予算委員 辞职 片山虎之助君 岸 宏一君 補欠
同日内閣から、財政法第四十六条第二項の規定による平成二十四年度第二・四半期における予算使 用の状況の報告書を受領した。	行政監視委員 辞职 中山 恭子君 水落 敏栄君 岸 宏一君 補欠
同日内閣から、財政法第四十六条第二項の規定による平成二十四年度第二・四半期における予算使 用の状況の報告書を受領した。	国際・地球環境・食糧問題に関する調査会委員 辞职 中山 恭子君 岸 宏一君 補欠
去る十一日議長は、フィリピン共和国南部ミンダナオ島において四日から五日にかけて発生した台風による被害に対し、ホアン・ポンセ・エンリレ同國上院議長宛見舞電報を発送した。	同日議長において、次のとおり調査会委員の辞职 を許可し、その補欠を指名した。
去る十四日内閣総理大臣から平成十九年七月二十九日執行の参議院比例代表選出議員選挙の繰上補充による当選人について通知書を受領した。	同日議長は、天皇誕生日に際し、ノエル・A・キンセラ・カナダ上院議長及びアンドリュー・シーア同國下院議長より祝辞を受けた。
樽井 良和君（今野東君退職による） 同日内閣総理大臣から平成二十四年七月十一日執 行の参議院比例代表選出議員選挙の繰上補充によ る当選人について通知書を受領した。	同日議長は、天皇誕生日に際し寄せられた祝辞に対する礼状を対する礼状を昨二十五日委員長から次の報告書が提出された。
武見 敬三君（義家弘介君辞職によ る） 樽井 良和君（今野東君退職による） 同日内閣総理大臣から平成二十四年七月十一日執 行の参議院比例代表選出議員選挙の繰上補充によ る当選人について通知書を受領した。	同日議長は、ノエル・A・キンセラ・カナダ上院議長及びアンドリュー・シーア同國下院議長宛天皇誕生日に際し寄せられた祝辞に対する礼状を発送した。
樽井 良和君（今野東君退職による） 同日内閣総理大臣から平成二十四年七月十一日執 行の参議院比例代表選出議員選挙の繰上補充によ る当選人について通知書を受領した。	同日議長は、天皇誕生日に際し寄せられた祝辞に対する礼状を昨二十五日委員長から次の報告書が提出された。
藤巻 幸夫君 山田 太郎君（上野ひろし君、小熊慎司君及び櫻内文城君退職による） 同日議長において、常任委員を次のとおり指名し た。	同日内閣から、国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律第七条の規定に基づくハイチ国際平和協力業務の実施の状況の報告書を受領した。
内閣委員 外交防衛委員 同日議長において、次とのおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。	同日議長は、十七日のダニエル・イノウエ・アメリカ合衆国上院副議長の逝去に際し、ジョセフ・バイデン同國上院議長宛弔意表明の書簡を発送した。
法務委員 農林水産委員 国土交通委員 同日議長において、常任委員を次のとおり指名し た。	同日議長は、十七日のダニエル・イノウエ・アメリカ合衆国上院副議長の逝去に際し、ジョセフ・バイデン同國上院議長宛弔意表明の書簡を発送した。
大野 元裕君 岡崎トミ子君 山根 隆治君 吉川 沙織君	本日内閣総理大臣から次の通知書を受領した。 内閣は、日本国憲法第七十条により、本日總辭職することに決定いたしましたから、国会法第六十四条によって、この旨通知いたします。
足立 信也君 有田 芳生君 石井 一君 一川 保夫君 植松恵美子君 江崎 孝君 小川 勝也君 尾立 源幸君 大久保 勉君 大島九州男君 大塚 耕平君 山井 邦彦君 柳澤 光美君 柳田 輝彦君 前田 武志君 松野 信夫君 室井 安井美沙子君 柳田 光信君 前田 正司君 松井 孝治君 藤本 祐司君 前川 清成君 牧山ひろえ君 藤田 幸久君 藤本 健三君 藤末 健三君 藤谷 光信君 藤原 正司君 松井 孝治君 増子 輝彦君 松浦 大悟君 水岡 俊一君 吉川 敏幸君	同日議長は、クリン・アントネスク・ルーマニア上院議長宛天皇誕生日に際し寄せられた祝辞に対する礼状を発送した。



官 報 (号 外)

平成二十四年十二月二十六日

參議院會議錄第一号 投票者氏名 指定された議席

官 報 (号 外)

平成二十四年十二月二十六日

参議院会議録第一号 指定された議席

官 報 (号 外)

平成二十四年十二月二十六日

參議院会議録第一号 指定された議席

發行所  
二東京都千代田區虎ノ門三丁目  
獨立行政法人國立印刷局  
電話  
03(3587)4294  
定 儲  
本号二部  
(本体  
一〇円)